

# 1 号議案 平成 25 年度各部活動報告

## 理事長総括 (小川理事長)

### ■執行部に関して…

理事 6 名と少数でしっかり会運営に取り組んできましたが、収支が安定していることもあってか会として大きな挑戦はできませんでした。決して悪い事ではなく安定期をしっかりと守ることも執行部の大切な役割と認識していますが、今だからやれる事に挑戦するのも必要かなと感じています。無理な冒険に出ることもないですが、挑戦の機会が訪れた時に対応できる体制をしっかりと執行部として持たなければならないと考えています。

### ■部会に関して…

部会再編に取り組み、活動を対外的活動と内部活動に区分けする事で部会に関わる会員の意識も随分と明解になってきました。どの部活動に参加出来るか、ふくてつくで何をすればよいかと悩んでいた方々にとって会内での居場所を見つけるきっかけになってくれればと思っています。まだ選択するには十分ではないですが、これからも部会活動の充実に努めたいと思います。

### ■会全体に関して…

25 年度は 20 周年を振り返る動きに終始した 1 年となりました。学習会で昔の写真を見ては「若かったなあ」「いろいろ楽しかったなあ」と懐かしく振り返ることができました。この 20 年間、初期は有償ボランティアとして活動し、NPO 法人を取得してからの後半は事業活動にも積極的に取り組む様になってきました。さてこれからの 10 年、20 年がどの様に変化していくか、不安もありますが会員みんなで楽しみながら続けていきたいと思っています。

## 事務局報告 (中北事務局長)

### ◆定例会

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H25.7.6	東日本大震災等から学ぶ 障害者市民の防災	NPO ゆめ風基金 理事 八幡隆司氏	・「ものづくりのつどい」活動準備
H25.8.3	第 12 回定期総会開催		・カンボジア支援協力依頼
	「生きてていいんだ 砂川 恵理歌」の活動について	佐久川会員	
H25.9.7	ふくてつく発足 20 年の あしあと「1」	佐久川会員	・「ものづくりのつどい」を (仮称) 第 3 部会として発足 ・阪南病院見学会
H25.10.5	ふくてつく発足 20 年の あしあと「2」	小川・清水会員	・(仮称) 第 3 部会を「ふくてつくのつどい」と改名 ・コンボネットミニ交流会参加
H25.11.2	ふくてつく発足 20 年の あしあと「3」	小川会員	・「池島ふれあいまつり」に 参加
H25.12.7	ドキュメント作成の技術	中北会員	・会報 85 号発行 ・里山見学
H26.1.11	親睦会		・近畿地区グループホーム・ケアホーム職員研修会に参加 ・奈良県手をつなぐ育成会 10 周年開催
H26.2.1	平均 27.6 歳の集団/NPO み・らいずの想いと活動	NPO み・らいず 理事 榎谷礼路氏	・福祉サービス第三者評価機関連絡会に参加

H26.3.1	大阪府福祉のまちづくり審議会参加報告	一級建築士事務所 TMN 西田多美子氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同朋学園第三者評価協働終了</li> <li>・東大阪改造助成訪問調査実施</li> <li>・住まいの情報センター「タイアップ交流会」に参加</li> <li>・こうべエバーサルデザインフェアにすべらんうどんを出店</li> <li>・親睦会開催 カニパーティー</li> </ul>
H26.4.5	これからの障がい者地域支援とは	西宮市社協事務局長・元青葉園園長 清水 明彦氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくてっくのつどいで「からくり教室」開催</li> <li>・里山見学Ⅱ</li> <li>・地域生活支援センター「かーさ」見学会</li> <li>・NPO キラリ 1周年記念に参加</li> <li>・奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価訪問調査</li> </ul>
H26.5.10	高齢者疑似動作体験	東大阪部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東大阪 NPO ぱあとなあ 新事業所開設</li> </ul>
H26.6.7	これからの地域支援活動のゆくえ	大阪市ボランティア・市民活動センター 副所長脇坂博史氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報 86号発行</li> <li>・ふくてっくのつどいで収穫体験実施</li> </ul>

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第 12 回 定期総会 H25.8.3 13:30～15:07	大阪市立社会福祉センター 3階会議室 正会員総数 38名 出席 32名(うち委任状出席 8名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24 年度活動報告・同決算 承認</li> <li>・H25 年度活動計画・同予算 承認</li> <li>・H25 年度理事の改選 承認</li> </ul>

■理事会・運営会議記録

開催内容、日時	場所	議事
理事会 H25.8.3 10:05～12:07	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24 年度活動、決算報告</li> <li>・H25 年度活動、予算計画</li> <li>・役員改選について</li> </ul>
理事会 H25.9.7 11:52～12:08	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25 年度新体制における理事長、副理事長の選任</li> <li>・補助金申請に関するふくてっくの基本要件</li> </ul>
運営会議 H25.7.13 13:45～16:05	ATC ふくてっく事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業、部会活動報告</li> <li>・本会 H24 年度決算報告、H25 年度予算計画</li> <li>・H25 年度執行部体制について</li> </ul>
運営会議 H25.9.7 10:00～11:45	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO ぱあとなあに関する活動参加</li> <li>・補助金等申請に関する基本姿勢</li> <li>・(仮称) 第 3 部会設立準備の経過</li> <li>・11/23 の活動予定</li> <li>・20 周年記念事業の進捗状況</li> </ul>
運営会議 H26.3.1 10:00～11:50	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.9 運営会議および理事会の振り返り</li> <li>・各事業部門 上半期活動報告・中間決算ならびに下半期展望</li> <li>・20 周年記念事業計画進捗状況、今夏への集約</li> <li>・広報活動、会員増強活動</li> </ul>
拡大運営会議 H26.5.10 10:00～12:00	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25 年度の振り返りと次年度の展望</li> <li>・定款、細則の見直し課題について</li> <li>・広報と会員増強</li> <li>・20 周年事業企画</li> </ul>

# 1. ふくてっくのつどい (小川会員)

木工活動 平成 25 年度事業報告 (H25/7/1～H26/6/30)			
A : 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	池島ふれあいまつり	11/23	日曜大工道具の体験と自由な発想による工作体験
	社会福祉法人海の子の家		工作道具の安全な使い方を説明し、実際木工作体験ができ 子供達の笑顔が見られました。
	池島公園		

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	わくわく会議	9/14	部会再編に向けての意思確認
	10名		部会再編についての説明と理解を求め、概ね承認を得る。
	関西照明器具工業協同組合		
2	つどい会議	9/28	池島まつりの取組み確認
	9名		池島まつり参加に伴う取組準備と進行を確認。新たな進行について意見を を交わし、試みることとなる。
	関西照明器具工業協同組合		
3	つどい集会	2/22	原点回帰、ふくてっく活動の確認
	7名		ものづくりを根幹に、これからのつどいの活動を確認。とにかく楽しい 活動していこうとなる。
	関西照明器具工業協同組合		
4	つどい集会	4/12	里山等、外部連携を含めた活動拡大の意思確認
	7名		里山での活動の可能性とその他の活動の今後の展開について確認。
	関西照明器具工業協同組合		
5	つどい集会	5/31	これからの活動内容について
	9名		26年度の活動についての方針を確認。
	関西照明器具工業協同組合		
6	里山遠足	12/14	里山での活動体験
			どのような事が里山で体験できるのかを確認。里山の維持管理の大切さと 苦勞が多い事がわかる。今後どのような関わりが出来るか検討が必要。
	生駒いいもり山		
7	里山遠足Ⅱ	4/26	里山での活動体験
			里山で子供や障がい者(児)の人達とどのような自然体験できるか確認。 維持管理については困難も多いが、クラフト、自然体験は可能性が見え てくる。
	生駒いいもり山		
8	収穫体験(野菜狩り)	6/15	里山での活動体験
	7名		会のレクリエーションとして会員所有の畑で収穫体験。参加者はお土産 付の軽労働で程好い汗を流す。
	泉ヶ丘		

木工活動 平成 25 年度収益費用報告 (H25/7/1～H26/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島祭り	25,000	40,252	△15,252
合計		25,000	40,252	△15,252

研修活動 H25 年度活動報告 (H25/7/1～H25/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	パソコン教室	2/1	パソコンソフトの説明
	4名		参加者はパソコン持ち込みにより日頃の問題を質問し解決。
	社会福祉センター1階		
2	パソコン教室	3/22	パソコンソフトの説明
	4名		参加者はパソコン持ち込みにより日頃の問題を質問し解決。
	社会福祉センター1階		
3	パソコン教室	4/12	パソコンソフトの説明
	6名		参加者はパソコン持ち込みにより日頃の問題を質問し解決。
	社会福祉センター1階		
4	パソコン教室	5/10	パソコンソフトの説明
	3名		参加者はパソコン持ち込みにより日頃の問題を質問し解決。
	社会福祉センター1階		
5	パソコン教室	6/7	3Dソフトの説明
	3名		面白い3Dソフトがあり、是非参加者にも利用して頂く為に説明。
	社会福祉センター1階		
6	からくり教室	4/12	からくりのからくりを知ってもらう。
			からくりの歴史から簡単な仕組み(からくり)の説明。からくりのサンプル(モックアップ)を使つての説明もあり木工にも利用出来る事が確認できた。
	社会福祉センター1階		

研修活動 平成 25 年度収支報告 (H25/7/1～H25/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
B-1	パソコン教室	参加費 500×4=2,000	資料・講師代 1,500	¥ 500
B-2	パソコン教室	参加費 500×4=2,000	資料・講師代 1,500	¥ 500
B-3	パソコン教室	参加費 500×6=3,000	資料・講師代 2,500	¥ 500
B-4	パソコン教室	参加費 500×3=1,500	資料・講師代 1,000	¥ 500
B-5	パソコン教室	参加費 500×3=1,500	資料・講師代 1,000	¥ 500
B-6	からくり教室	0	0	¥ 0
合計		¥10,000	¥7,500	¥ 2,500

## 住環境研究活動 平成 25 年度活動報告 (H25/7/1～H25/6/30)

### B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	学習会	7/27	生と死を見つめて
	関西照明器具工業 協同組合		社会的背景や統計数値と文献をまとめたアジェンダを軸に、 参加者同士が意見を交わし、いろいろな考え方を話し合う。
2	学習会	8/24	生と死を見つめて
	関西照明器具工業 協同組合		社会的背景や統計数値と文献をまとめたアジェンダを軸に、 参加者同士が意見を交わし、いろいろな考え方を話し合う。
3	学習会	11/30	「命とは？」
	関西照明器具工業 協同組合		社会的背景や統計数値と文献をまとめたアジェンダを軸に、 参加者同士が意見を交わし、いろいろな考え方を話し合う。
4	学習会	2/22	「命とは？第2回、延命治療と尊厳死」
	関西照明器具工業 協同組合		社会的背景や統計数値と文献をまとめたアジェンダを軸に、 参加者同士が意見を交わし、いろいろな考え方を話し合う。

「ふくてっくのつどい」のなりたち

24年度総会で一年の報告が終わり、何となく楽しい報告が出来ていないことに「つどい」のきっかけがあります。このままでは会が閉塞してしまうのではないかと感じ、25年度がスタートしてすぐに「第3部会わくわく会議」として集会を開催しました。

これまで部はあるものの活動がままならない状態が続き、ふくてっくの大切な活動が「こんなやりにくい事ではダメだ!」「何故こんなに動きにくいのか?」を考え、限定された会員構成と小規模な部体制が対応力を悪くしていることを大きな問題と結論付け、問題解決には「みんなが考え、みんなに対応する」ことが大切であると認識し、「みんなが集う場」として「ふくてっくのつどい」ができました。

「つどい」は、“ものづくり”を根幹にし、多岐に活動の枝を広げ活動していくことを目標にしています。

## 2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会 平成 25 年度事業・活動報告 (H25/7/1～H26/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H25年 7/1～ H26年 6/30	高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動(建築士・セラピスト)・事前相談会・報告書作成・市民啓発資料作成・データ収集等実施
	東大阪市		H25年4/1～H26年3/31 実績
	東大阪市内		検証実績/高齢者世帯 67件・重度身体障がい者世帯 13件 セラピスト検証活動 19件 事前相談会実績 30件 H25年度報告書作成 H25年度しおり等作成
2	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業 講習会	H25年 ①3/13 18:30～ 20:30 ②3/27 18:30～ 20:30	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、東大阪市改造費助成制度に関する理解を深めるための講習会を開催する。 ①グループワークで、改造費助成と介護保険住宅改修の違いや見積書の見方等の説明をおこなう。 ②「高齢者疑似体験装具」「片麻痺装具」をつかった動作を体験する。
	東大阪市		参加者：①介護支援専門員 ②施工事業者
	東大阪市庁舎		①本制度の活用の仕方や工事金額に見方について、理解を深めた。 ②本制度の対象となる工事や動作検証の重要性について、理解を深めた。
3	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業 事後調査	H25年 ①1/15 ②3/6～ 3/28	本制度による住宅改造の有用性を確認する。H23年度・H24年度に改造をおこなった事例 140件にアンケート調査を実施。その後、32件のヒヤリング訪問調査を実施。
	東大阪市		アンケート回収率 67%、訪問調査 23%。
	東大阪市内		改造工事に満足している声が多く、本制度の有用性を確認する事ができた。
4	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H25年 7/1～ H26年 6/30	住宅改修の質的向上を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H25年4/1～H26年3/31 実績
	東大阪市内		検証実績/事前審査 188件 事後審査 99件 H25年度報告書作成 H26年度介護住改 Q&A 集作成
5	東大阪市介護保険住宅改修研修会	H25年 ①8/6、28 18:30～ 20:30 ②8/21 14:00～ 16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。 ①住宅改修計画時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。 ②理由書作成時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。
	東大阪市		参加者：①施工事業者 ②介護支援専門員
	東大阪市庁舎		①適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少が期待できる。 ②理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少が期待できる。

6	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H26年 ①1/22 (ア)13:00 (イ)18:00 ②3/12 ・3/18	健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。 ①制度理解と資質の向上を図ることを目的とした集団座学の講習会(ア)介護支援専門員向け (イ) 施工事業者向けの講師を務める。 ②介護支援専門員のスキルアップ講習会(2回)をグループワークで実施する。
	尼崎市	13:30～ 16:00	参加者：①(ア)介護支援専門員 (イ) 施工事業者 ②(ア)介護支援専門員
	尼崎市		① (ア) 適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少が期待できる。 ① (イ) 理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少が期待できる。 ② 介護支援専門員に気づきを促すことができ、住宅改修への積極的な関わりが期待できる。
7	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査		H26年度に延期
8	ワンポイントアドバイス冊子発行		H26年度に延期
9	出前講座		H26年度に延期

## 東大阪部会 平成25年度活動報告 (H25/7/1～H26/6/30)

### B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
場所			
1	定例検討会	H25年7月 ～H26年6 月第3土曜 日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。
	検証メンバー全員		13回開催 検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。
	ATC ふくてっく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会議室		

## H25 年度東大阪検証活動 作業担当スケジュール

※ 担当日、都合が悪い時は、自ら事前に他のメンバーと交渉し交代する。変更になった場合はメールで全員に連絡する。

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会発表	その他活動予定
	原則:木曜 太字是水曜	集積 送信	第1・3・5 木曜	担当		第3 土曜	議事 進行	記録		
4月	4.11.18.25	川北	① 4/4	清水	4/11	4/20	川北	清水	フポイント アドバイザー担当	
			② 4/18	川北	4/25 山本					
5月	1.9.16.23.30	後藤	③ 5/16	鎌田	5/9	5/18	山本	寺岡	後藤 「見積書につ いて」	
			④ 5/30	山本	5/23 小川					
6月	6.13.20.27	小川	⑤ 6/6	清水	6/13	6/15	川北	山本	川北 「西福祉事務 所周辺」	
			⑥ 6/20	後藤	6/27 川北					
7月	4.11.18.25	大塚	⑦ 7/4	寺岡	7/11	7/20	山本	曾我 部	寺岡 「3R につい て」	改造助成・介護住改 H24 年度報告書納品
			⑧ 7/18	磯田	7/25 小川					
8月	1.8.15.22.29	清水	⑨ 8/1	曾我部	8/8	8/17	川北	小川	8/4 発表無し	・8/8・28 介護住改登 録説明会及び研修会 ・8/21 ケアマネ講習会
			⑩ 8/29	小川	8/22 山本					
9月	5.12.19.26	山本	⑪ 9/5	小川	9/12	9/21	山本	後藤	曾我部 「サ高賃につ いて」	
			⑫ 9/19	川北	9/26 川北					
10月	3.10.17.24.31	曾我部	⑬ 10/3	山本	10/10	10/19	川北	中北	磯田 「ハリアフリー-リフ ォーム」	尼崎住改申請書類実 態調査
			⑭ 10/17	後藤	10/24 小川					
11月	7.14.21.28	鎌田	⑮ 11/7	磯田	11/14	11/16	山本	清水	大塚 「挑戦する事 の楽しさ」	尼崎住改申請書類実 態調査
			⑯ 11/21	鎌田	11/28 山本					
12月	5.12.19.26	大橋	⑰ 12/5	曾我部	12/12	12/21	川北	大塚	清水 「安全・安心 まちづくり」	東大阪介護住改検証 外申請書類調査
			⑱ 12/19	寺岡	12/26 川北					
1月	2.9.16.23.30	磯田	⑲ 1/16	清水	1/9	1/18	山本	川北	1/11 発表無し	1/22 尼崎介護住改研 修会(ケアマネ向け/施 工事業者向け)
			⑳ 1/30	山本	1/23 小川					
2月	6.13.20.27	寺岡			2/13	2/15	川北	大橋	山本 「暗闇体験報 告」	東大阪改造助成事後 アンケート調査
					2/27 山本					
3月	6.13.19.27	春岡			3/13	3/15	山本	磯田	大橋 「アストラス就学 支援事業」	・東大阪事後訪改造 助成問調査 ・3/12.18 尼崎介護住 改ケアマネ講習会
					3/27 川北					

※「事前相談会」太字は会場:西福祉事務所

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担



### 3. こむねっと事業部会 (中北会員)

こむねっと事業部会 平成25年度事業・活動報告 (H25/7/1～H26/6/30)			
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動) 太字斜体は計画からの変更追加内容			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
場所			
A1-1	福祉サービス第三者評価	H25年9月 ～	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府庁ほか		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与 評価機関ふくてっくの評価機能向上を図る ⇒25年度は府の審議会開催が低調に推移 書面会議において、評価機関連絡会として課題提議。
A1-2	福祉サービス第三者評価	H25年9月 ～	奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価
	奈良県手をつなぐ育成会 やすらぎの丘・高取ワークス		前回に引き続き(今回は奈良県の正式な取組として)事業所の サービス評価を実施する。前回の評価結果を踏まえて、法人と も協議の上、テーマを絞り込んで、より踏み込んだ評価に取り 組むこととする。 ⇒26年4月以降訪問調査を実施、現在評結果報告書作成 中 収支決済は次年度に持越し
	同朋学園第三者評価	H25年9月 ～ H26年3月	ACJからの依頼を受け協働参加。成功裏に終了。 引き続き、協働の取組の拡大を模索中。 連絡会を通じて協賛する評価機関の輪の拡大に努めつつ 大阪府地域福祉課の理解も浸透。
A2	SCP研究会	H25年9月 ～	サービス・コンティニュー・プランニング事業
	医療・福祉事業者 関西広域連合域		まずは、研究会を発足させる。(事業化は数年先か?) 特定メンバー(外部を含む)による会費制組織とする。 ⇒具体の進展なし セミナー参加の機会に、神戸大大西准教授との接点を得 る。
A3	障害者の住環境改善支援	H25年9月 ～	障害者支援団体あるいはその障害当事者が主体となって、障害 その他生き苦しさをもつ市民の生活環境を整える活動を後 方支援する事業 ⇒各団体との連携を模索するも、年度内に具体の進展得ら れず
	障害者支援機関 関西広域連合域		事業部門を発足する。 具体的には、上記様々な障害者支援機関に働きかけて、その「自 立生活支援事業」の重要な要素である生活環境正義にかかる、 相談支援機能を当会が後方支援することによって、多様かつ広 範囲におよぶ地域生活障害者の自立を確立することに寄与す る。あわせて、そうした支援活動に取り組む障害当事者の就労 機会を創設する。 特定メンバー(原則ふくてっく会員)によるチーム編成。 まずは、多くの関係先との連携を強化し、どのような取組が可 能かを探る中、依頼を受けて具体の住宅改造も数件請け負う。 ⇒前項同様に、具体の進展なし

A4-1	社会連携①あべの地域連携	随時	阿倍野区内で活動する諸団体（企業まちづくり交流会）の連携
	阿倍野区社協ほか諸団体		地域に密着した新しい市民活動（企業を含む）の模索
	阿倍野区域		<b>⇒市・区への対応は不透明。25年度は活動停滞</b>
A4-2	社会連携② 真友会	随時	サ高住併設地域サロンを基点とする医療・福祉連携
	淀川区社協ほか諸団体		市民・企業・行政のセクションを超えた連携の樹立をめざす。
	淀川区域		活動を通じて課題抽出を研究課題とする事業も模索。 具体的設計監理業務とは別枠で、部会の取組を実現する。 <b>⇒毎月の協議会は継続し、地域活動の萌芽を模索中。          顕著な進展はなお時期尚早。          26年6月にはマキノハイツ視察。</b>
A4-3	社会連携③ 宅老連	毎月第3月曜	地域福祉をテーマとする多様な機関・個人の交流と連携
	宅老連参加諸団体		多方面の交流や有意義な研修を通じ、多様な視点(価値観)の導入と協働できる社会資源を求める。
	概ね大阪府下		有意義な学習会情報を会に紹介し、会員の知見拡大に寄与する。 <b>⇒前年度に比して会合参加は減少するも、連携は維持。          各種セミナー、協議会にも参加。</b>
A5-1	福祉事業起業①	随時	いくつかの候補事業を具体化する
	プロジェクト立ち上げ支援		こむねっと事業部のプロデュース機能を発現する。
	具体のプロジェクト対象		いずれも、具体的設計監理業務と併行して部会の取組を実現し、
	不特定 臨機に対応		多くの会員の関わる機会を創出しつつ、新たなミッションを確立する。
	<b>⇒東大阪若江東に関与</b>		①東大阪ばあとなあ：空き工場活用の障害者地域自立拠点整備 <b>⇒設計監理業務は中北 A0 が受注。</b> <b>会より山本・曾我部両会員が、25年6月以降、計画会議に</b> <b>参加して各種の活動提案。</b> <b>学生参加を誘導して、法人の社会交流を実現した。</b> <b>26年4月の整備完了を機に今後の協働活動体制構築合意。</b> <b>(法人運営会議に参加を常態化)</b>
	②青葉園新施設構想		<b>⇒設計監理業務は中北 A0 で進行</b> <b>会の参画は次年度課題とする。</b>
A5-2	福祉事業起業②	随時	既存建物活用型事業所指定手続き支援
	障害者福祉サービス機関		既存建物の調査、安全改修計画並びに「申立書」作成等の業務を担い、健全な事業所開設に向けたコンサルティングを行う。 <b>⇒年度初期に何件かの相談受け対応。</b> <b>下半期は進展なく停滞。</b>

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）				
	活動名	日付 期間	活動目的・内容等	
	参加人数		成果	
	場所			
B1-1	9月部会	9/14（土）	各事業の活動方針、体制、規約その他検討	
	10名		25年度のこむねっと活動体制を固める	
	大阪市立社会福祉センター		各事業、それぞれの方針確認	
B1-2	10月部会	10/19（土）	ばあとなあ若江東計画	たかとり第三者評価
	4名		改装計画の実施設計とりまとめ と、本会の協働課題抽出	12月からの自己評価開始 に向けて工程計画
	大阪市立社会福祉センター		ばあとなあの事業支援を起動	評価重点課題の抽出
B1-3	11月部会	11/16（土）	社会保障審議会資料読み解き	たかとり第三者評価
	4名		社会保障制度の廻り角	スケジュール・基本方針吟味
	大阪市立社会福祉センター		こむねっと各種活動への影響 を認識	活動予定の決定
B1-4	12月部会	12/14（土）	社会保障審議会資料読み解きの続き	
			人口動態 都市部の地域特性 団塊世代の特性 地域包括ケア	
	大阪市立社会福祉センター		2025年の福祉施策課題を理解し、部会活動ミッションを模索	
B1-5	2月部会	2/15（土）	福祉サービス第三者評価	
	7名		奈良県手をつなぐ育成会評価計画	
	大阪市立社会福祉センター		基本方針 スケジュール 収支計画の確定	
B1-6	3月部会	3/15（土）	福祉事業サポート計画	福祉サービス第三者評価
	8名		NPO ばあとなあの事業所整備 計画への支援検討	奈良県手をつなぐ育成会アン ケート集計の中間報告 訪問活動日程調整
	番外		小規模施設の人材確保・育成における課題	
	1名 たかつガーデン		アンケート結果から見える課題を把握 “人的資源”を基礎とする、福祉サービス事業体のガバナンス 確立課題を理解	
B1-7	4月部会	4/1（土）	福祉事業サポート計画	福祉サービス第三者評価
			NPO ばあとなあの事業所整備 計画への支援検討	奈良県手をつなぐ育成会 各事業所の評価担当者決定 訪問調査スケジュール詳細確 定
	大阪市立社会福祉センター			
B1-8	4月部会その2	4/19（土）	各活動進捗状況報告	26年度事業計画
			奈良・東大阪その他 進行中活動の情報共有	収益事業部門構想、研修企画 その他の基本方針確認
	大阪市立社会福祉センター			
B1-9	5月部会	5/17（土）	奈良県手をつなぐ育成会第三者評価	
			評価会議	
	大阪市立社会福祉センター			
B1-10 B1-11	6月部会	6/9（月）	奈良県手をつなぐ育成会第三者評価	
		6/24（火）	評価会議	
	中北A0			

こむねっと事業部会 平成 25 年度収支報告 (H25/7/1~H26/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
A-1-1	福祉サービス第三者評価事業	¥0	¥0	
A-1-2	福祉サービス第三者評価事業 (奈良県手をつなぐ育成会)	¥0	¥0	
A-2	SCP研究会 (有料会費)	¥0	¥0	
A-3	障害者の住環境改善支援	¥0	¥0	
A-4-1	阿倍野地域連携	¥0	¥0	0
A-4-2	真友会 (淀川区地域連携)	¥0	¥0	0
A-4-3	宅老連	¥0	年会費 ¥10,000	-10,000
A-5-1①	ぱあとなあ若江東PJ.	¥0	¥0	
A-5-1②	青葉園新施設構想	¥0	¥0	
A-5-2	既存建物活用型 福祉事業所開設支援	¥194,250	¥146,000	48,250
B-1	こむねっと事業部会総務	¥0	¥0	
合計		¥194,250	¥156,000	35,280

26年度、こむねっと事業部会では  
奈良県手をつなぐ育成会第三者評価に取り組みましたが、年度内完成ができず、  
収支は次年度に持ち越しています。  
その他の活動も多くが継続中につき、収支が顕在化しておりません。

A-5-2 案件別内訳

依頼主・件名	収入 (税込)	諸謝金	旅費交通費	支出計	剰余金
ぼぼんがぼん大池町	31,500	23,000	5,000	28,000	3,500
紫陽花 (石切)	84,000	65,000	7,000	72,000	12,000
紫陽花 (関目)	42,000	23,000	5,000	28,000	14,000
紫陽花 (天満)	36,750	16,000	2,000	18,000	18,750
合計	194,250	127,000	19,000	146,000	48,250

#### 4. 20周年記念事業検討委員会 (清水会員)

20周年記念事業検討委員会 平成25年度事業報告 (H25/7/1～H26/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付期間	事業目的・内容等
1	ふくてっく20周年記念事業準備	H25年 7/1～ H26年 6/30	1、20周年記念事業実施に向けて、資料作成等をおこなう。 2、H25年9月・10月・11月 当会定例会/学習会において「ふくてっく発足20周年のあしあと」と題し過去の活動を振り返る。 3、旧会員及び関係機関に下記の葉書を送付する。 ①「20周年お知らせ」245名、10月末発送 ②「20周年パーティーの案内」160名、6月末発送

20周年記念事業検討委員会 平成25年度収支報告 (H25/7/1～H26/6/30)			
事業名	収入	支出	余剰金
ふくてっく20周年記念事業準備	0	人件費 0 通信交通費 28,890 消耗品等 2,106	△30,996

## 2号議案 平成25年度決算報告 (中北事務局長)

### 活動計算書

平成25年7月1日から平成26年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	360,000	
通信会員受取会費	1,000	
学生会員受取会費	0	
例会参加受取会費	1,000	362,000
2. 受取寄付金		5,000
3. 事業収益		
ふくてっくのつどい	35,000	
こむねっと	194,250	
東大阪	5,968,470	6,197,720
4. その他収益		
受取利息	1,332	
雑収入	520	1,852
経常収益計		6,566,572
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	10,000	
人件費計	10,000	
(2)その他経費		
諸謝金	4,696,996	
地代家賃	0	
印刷製本費	30,422	
通信運搬費	57,020	
消耗品費	171,638	
旅費交通費	439,283	
会議費	31,320	
車両費	4,000	
租税公課	6,000	
諸会費	0	
研修費	0	
支払手数料	15,921	
雑費	102,211	
その他経費計	5,554,811	
事業費計		5,564,811
2. 管理費		
(1)人件費		
給料手当	127,200	
通勤費	33,140	
人件費計	160,340	
(2)その他経費		
諸謝金	53,411	
地代家賃	404,628	
印刷製本費	442	
通信運搬費	60,132	
消耗品費	4,726	
旅費交通費	0	
会議費	65,980	
保険料	35,840	
租税公課	70,267	
諸会費	10,000	
支払手数料	30,789	
新聞図書費	5,500	
減価償却費	1,761	
寄付金	0	
雑費	31,654	
その他経費計	775,130	
管理費計		935,470
経常費用計		6,500,281
当期経常増減額		66,291
当期正味財産増減額		66,291
前期繰越正味財産額		5,559,773
次期繰越正味財産額		5,626,064

貸借対照表

平成26年6月30日 現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,485,132		
流動資産合計		5,485,132	
2. 固定資産			
什器備品	3,520		
保証金	137,412		
固定資産合計		140,932	
資産の部合計			5,626,064
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債の部合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,559,773	
当期正味財産増減額		66,291	
正味財産の部合計			5,626,064
負債・正味財産の部合計			5,626,064

財産目録

平成26年6月30日 現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	115,110		
三菱東京UFJ銀行梅田支店	4,303,186		
ゆうちょ銀行	986,336		
郵便振替口座	80,500		
流動資産合計		5,485,132	
2. 固定資産			
什器備品	3,520		
保証金	137,412		
固定資産合計		140,932	
資産の部合計			5,626,064
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債の部合計			0
正味財産			5,626,064

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	ふくてっくのつどい	こむねつと	東大阪	20周年記念	事業費計	管理費	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	362,000	362,000
2. 受取寄付金					0	5,000	5,000
3. 事業収益	35,000	194,250	5,968,470		6,197,720		6,197,720
4. その他収益					0	1,852	1,852
経常収益計	35,000	194,250	5,968,470		6,197,720	368,852	6,566,572
II 経常費用					0		
1. 人件費					0		
給料手当	10,000				10,000	127,200	137,200
通勤費					0	33,140	33,140
人件費計	10,000	0	0		10,000	160,340	170,340
2. その他経費					0		
諸謝金	7,500	127,000	4,562,496		4,696,996	53,411	4,750,407
地代家賃					0	404,628	404,628
印刷製本費			30,198	224	30,422	442	30,864
通信運搬費			28,130	28,890	57,020	60,132	117,152
消耗品費	1,428		169,328	882	171,638	4,726	176,364
旅費交通費	5,500		433,783		439,283		439,283
会議費		11,200	19,120	1,000	31,320	65,980	97,300
車両費	4,000				4,000		4,000
保険料					0	35,840	35,840
租税公課			6,000		6,000	70,267	76,267
諸会費					0	10,000	10,000
研修費					0		0
支払手数料		1,364	14,557		15,921	30,789	46,710
新聞図書費					0	5,500	5,500
減価償却費					0	1,761	1,761
寄付金					0		0
雑費	19,324	18,995	63,892		102,211	31,654	133,865
その他経費計	37,752	158,559	5,327,504	30,996	5,554,811	775,130	6,329,941
経常費用計	47,752	158,559	5,327,504	30,996	5,564,811	935,470	6,500,281
当期経常増減額	-12,752	35,691	640,966	-30,996	632,909	-566,618	66,291

### 3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,590	424,070	3,520
合計	427,590	0	0	427,590	424,070	3,520

パソコン1台、プロジェクター1台

### 3 号議案 監査報告 (秋岡・稲住監事)

## 4号議案 平成26年度各部活動計画

### 1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成26年度事業計画 (H26/7/1~H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
1	池島ふれあいまつり	11/23	工具体験と自由木工
	福祉法人海の子の家		子供たちの創意工夫を引き出し、工作の楽しさを実感してもらおう。
	池島公園		
2	自由木工教室	27年上旬	工具体験と自由木工
	大阪市内		工作の楽しさを実感してもらおう。

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	つどい集会	年4回	活動内容の確認と新たな試みへの話合い
			会としてやりたい事、やるべき事を話合い、積極的に取組んでいく事を確認する場。
	関西照明器具工業協同組合		

ものづくり活動 平成26年度収支計画 (H26/7/1~H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島ふれあい祭り	25,000	20,000	¥ 5,000
A-2	自由木工 (交通費) (参加5名×500)	0	2,500	△¥ 2,500
合計		25,000	22,500	¥ 2,500

ものしり活動 H26 年度活動計画 (H26/7/1～H27/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	パソコン教室	年8回/ 参加平均 5名	新ソフトの紹介と活用の説明
	社会福祉センター1階		参加者の問題解決と新ソフトを知ることでパソコンを利用するバリエーションが増えることを期待。
2	広報ちらし作成	26年下旬	ふくてっくの活動広報ツール
			パソコン教室で備わったものの実践作業として、ちらし(ふくてっく活動)を作成。作成のみならずデザインも考慮し、手に取ってもらえる構成に期待したい。

ものしり活動 平成 26 年度収支計画 (H26/7/1～H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
B-1	パソコン教室	参加費 500×40=20,000	資料・講師代 16,000	¥ 4,000
合計		¥ 20,000	¥ 16,000	¥ 4,000

たいけん活動 平成 26 年度活動計画 (H26/7/1～H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	クラフト体験	11月頃	自然の中でクラフト体験をする。
	生駒いいもり山		里山の自然を満喫し、里山にある材料で木工クラフト体験をする。

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	収穫体験(野菜狩り)	5月頃	軽労働から収穫のたのしさを体験。
	泉ヶ丘		土いじりから野菜収穫の軽労働までを体験、会員間の交流にも活用。

たいけん活動 平成 26 年度収支計画 (H26/7/1～H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	交通費	0	500×5=2,500	
合計		¥ 0	¥ 2,500	△¥ 2,500

## 2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会は、東大阪市の委託事業として始まった適正検証事業も9年目にはいり、また、尼崎市への支援事業も3年目を迎えました。当初より問題提起やその克服提案を繰り返し、少しずつではありますが、その成果も確認する事ができています。今年度も継続して事業を展開し、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。個々の住環境改善を超えた、まちの住まい改善が目標です。

東大阪部会 平成26年度事業計画 (H26/7/1～H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H26年 7/1～ H27年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H26年 7/1～ H27年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	尼崎市介護保険住宅改修支援事業	H26年度 9/1～3/31 予定	目的：健全な制度利用と介護支援専門員の資質向上への支援、行政及び地域包括支援センターとの協働体制の確立。
	尼崎市		介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	尼崎市内		
4	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査	H26年 9/1以降 予定	目的：大阪府下自治体における高齢者・障がい者の住宅改造助成制度や介護保険住宅改修の諸手続きを調査し、バリアフリー施策の活性化に生かす。また、本制度申請者の適切、且つ、負担の軽減に寄与する。
	大阪府下自治体		東大阪市改造助成制度及び介護保険住宅改修の迅速な手続き・システムの改善、大阪府下住宅改修事業等が活性化する。
	大阪府下		
5	出前講座	H26年 9/1以降 予定	目的：住環境改善のための地域福祉力の育成
	大阪府民		地域包括支援センター・介護支援専門員・民生委員・地域活動をしている市民と連携し、市民の共助による住環境改善意識を促進する。
	大阪府下		
6	ワンポイントアドバイス冊子発行	H26年 9月以降予定	東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	定例部会(月1回開催)	H26年 7月～第3 土曜 12回	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによ って、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	大阪市立社会福祉センター・ ATCふくてつく事務局他		

東大阪部会 平成26年度予算計画 (H26/7/1～H27/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅 改造費助成制度適正検証事業/	3,434,400	2,730,000	704,400
			諸謝金 2,420,000	
			旅費交通費 220,000 消耗品 90,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正 検査事業	3,600,000	2,830,000	770,000
			諸謝金 2,450,000	
			旅費交通費 290,000 消耗品 90,000	
A-3	尼崎市介護保険住宅改修支援事 業	262,800	600,000	△337,200
			諸謝金 520,000	
			旅費交通費 50,000 消耗品 30,000	
A-4	大阪府下自治体バリアフリー施 策実態調査	0	200,000	△200,000
			諸謝金 150,000	
			通信費 40,000 消耗品 10,000	
A-5	出前講座	0	200,000	△200,000
			諸謝金 150,000	
			旅費交通費 30,000 消耗品 20,000	
A-6	ワンポイントアドバイラス	0	130,000	△130,000
			諸謝金 80,000	
			旅費交通費 30,000 消耗品費 20,000	
合計		7,297,200	6,690,000	607,200
			諸謝金 5,770,000 旅費交通費 620,000 消耗品 260,000 通信費 40,000	

8.3%

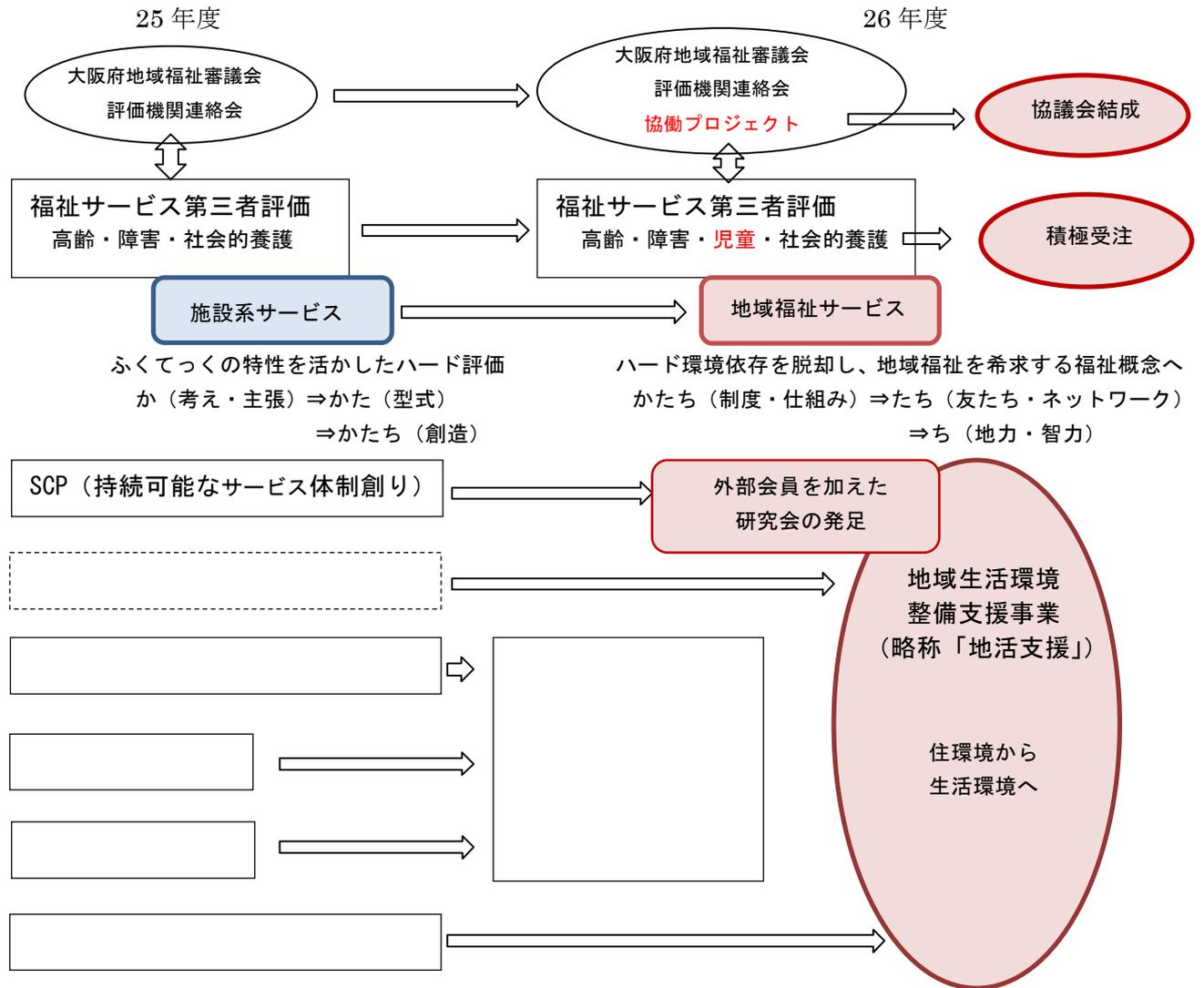
### 3. こむねっと事業部会 (中北会員)

**こむねっと事業部 平成26年度事業計画 (H26/7/1~H27/6/30)**

第三者評価部門はいよいよ本格的活動に向けて体制を拡大強化する。

その他の乱立気味事業は、「地域生活環境整備」という共通概念のもとに一本化する。

部会事業の再編



#### 連携する諸団体・機関

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 大阪 NPO センター  | 大阪市ボランティア・市民活動センター          |
| 大阪府地域福祉審議会   | 淀川区社会福祉協議会                  |
| 西宮市社会福祉協議会   | 障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 (障大連) |
| 関西シルバーサービス協会 | 中部障害者解放センター                 |
| 奈良県手をつなぐ育成会  | 大阪重症心身障害児者を支える会             |
| 樹 (ななとこ庵)    | 真友会                         |
| 宅老連          | 草の根共生会                      |
| ぱあとなあ        | ムーブメント                      |
| 夢宙センター       | いちごの会                       |
| 紫陽花          | あべの AICHAN                  |
| みらいず         | その他 . . . . .               |

A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価①	H26年7月 ～	大阪府地域福祉推進審議会
	大阪府庁ほか		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与 評価基準の見直し・評価の広域化などシステムの改善を通じ て、第三者評価事業の振興に向けて活動する。
A1-2	福祉サービス第三者評価②	H26年7月 ～	評価機関連絡会
	評価機関連絡会		引き続き、連絡会代表幹事を務めて、評価機関の情報共有と 意思疎通を図って大阪の第三者評価事業の拡大発展を進める。 今期は協働プロジェクトに同調する機関の連携を促進して 協議会の結成に持ち込む。 (当面の有力機関：ACJ, WACCH, 人権協会、子ども応援隊)
A1-3	福祉サービス第三者評価③	H26年7月 ～8月	奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価
	奈良県手をつなぐ育成会 やすらぎの丘・高取ワークス		昨年度から取り組んでいる評価活動を総括する。
A1-4	福祉サービス第三者評価④	H26年7月 ～	ふくてつく第三者評価事業の拡大
			1. 評価調査者の充実 新たな評価調査者の参加を募り、評価調査者養成研修を受講 する。(候補会員：上田・春岡)  2. 積極的な事業PRによる受注拡大 新たな事業所候補：敷津浦学園、NPO 中部、 奈良県の他事業所  3. 評価事業所のフォローアップとリピート受審の働きかけ 過去に受審（お試しを含む）した事業所にアプローチ
A1-5	福祉サービス第三者評価⑤	H26年9月 ～	社会的養護施設
	ACJ		ACJと協働して、2件の児童福祉施設の第三者評価に取り組む。

A2-1	地活支援①	H26年7月 ～12月	(社福)草の根共生会の生活介護事業所「連Ⅱ」を改修して、 ショートステイ事業所を開設する計画について、その設計監理 を実施する。
	草の根共生会 連Ⅱ改修プロジェクト		既存社会資源を活用して福祉事業を有意義に拡大することに ついて、当会メンバーの専門的資質を活かして、これを支援す る。この取り組みを契機に、同種の業務を事業部の常設活動と して、メンバーの研鑽機会を創設するとともに、 こむねっと事業部の収益エンジンとする。
A2-2	地活支援②	H26年7月 ～12月	脳性まひ男性(55才)の一人暮らし環境整備
	A.M氏 大阪市東淀川区		ほぼ全ての日常生活行為に全介助を要する当事者が55才にし て初めて一人暮らしに挑む。 どのような生活支援と環境を整えることができるか。住環境整 備におけるふくてつくの新たなミッションを確認する。 この取組を契機に障害者(疾病高齢者を含む)住宅改修活動を 軌道に乗せてゆくべく、情報発信と働きかけを増強する。 チームには障害者支援専門職や障害当事者の参画も実現し、 多様な視点で活動し、チームによる活動の利点を最大限に引き 出す。 各メンバーの本務との実効的かつ明確な棲み分けも課題。

A2-3	地活支援③	H26年7月 ～	整形外科診療所を基点とする地域医療・福祉連携プロジェクト 医療・福祉連携、市民・企業・行政連携・・・様々意味においてセクションを横断する画期的事業の起業を目指す。 長年の助走期間を脱して、いよいよ始動のとき。 (中核メンバー：福井医院、淀川助け合い、淀川区社協)
	真友会 大阪市東淀川区		
A2-4	地活支援④	H26年7月 ～	既存建物保全・活用調査、アドバイス 既存社会資源の維持保全や活用に関して、当会の専門性を活かして、その調査～改善計画・活用計画、並びに各種報告書式の作成を担う。 事業所開設許可に必要とする「申立書」「12条報告」作成を含み、かつて事業部活動から除外した「特殊建築物定期検査業務」を再び事業部活動に再編する。 これを部会がチーム編成して行う事により、技術や知識を参加メンバーで共有し、併せて事業部の収益エンジンとする。 また、そこに見える社会課題を公に発進する。
	各団体・機関・個人		
A2-5	地活支援⑤	H26年7月 ～	地域生活環境整備支援に資する各種研修会参加事業 事業部の活動主旨に沿った意義ある研修会に積極参加し、地域福祉環境の向上に向けた活動に欠かせない知見の吸収に努めるとともに、その機会を捉えて人的ネットワークの拡大を図る。 研修の成果を、こむねっと事業部学習会またはふくてっく学習会にフィードバックしてメンバーの共有を図る。 従来から参画している宅老連は、この意味での機会創設の場と認識する。 同様の意味で JIA 福祉部会への参加を復活する。
A2-6	地活支援⑥	H26年7月 ～	青葉園が目指す地域共生プログラムの支援 地域社会福祉協議会として、全国的にも異色な活動を展開する西宮市社協の活動に同調してこれを支援する中で、専門性を有する市民団体としての活動パターンを確立する。 これを大阪にフィードバックすることができれば幸い。 その機を見据えて、大阪の各機関との連携パイプを拡幅する。
	西宮市社会福祉協議会		
A2-7	地活支援⑦	H26年7月 ～	前述のほか、連携各機関・法人等とのネットワーク強化 多くの機関・法人との交流を深め、人的ネットワークを厚くすることによって、事業部の活動を推進する。 Ex：NPO ばあとなあ NPO 中部 その他

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7月部会	7/19（土）	25年度活動総括・26年度活動計画 26年度のこむねっと活動体制を固める。 各事業、それぞれの方針確認。
	大阪市立社会福祉センター		
B1-2	8月部会	8/16（土）	①奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価のまとめ ②M邸改修計画検討会 ③こむねっと事業部の情報発信ツールの開発検討 ④その他

B1-3	9月例会学習会	9/6(土) 例会学習会	障害者住宅改修セミナー M邸改修事業を題材とし、外部講師を招いて公開検討会を実施する。 住宅改修の取組を通じて、ふくてつくの原点に復帰し、会員の共有ステージを再現する。
	9月部会	9/20(土)	福祉サービス第三者評価 評価調査者内部研修① 評価基準の改定内容の習熟 (今春の改定内容について理解を図る)
B1-5	10月部会	10/18(土)	地活支援活動検討会① 障害者就労支援 事業部としてどのような支援活動がなしうるか? 連携機関・団体とのネットワークのあり方を探る。
	11月部会	11/15(土)	障害者施設見学会 障害者活動センター青おに(NPO 中部) = 障害者生活介護 ユイセンター(社福ユイ) = 重心生活介護+放課後等デイ ※いずれも大阪市東住吉区
B1-7	12月例学習会	12/6(土) 例会学習会	テーマ未定 (障害者住宅改修セミナー②) M邸改修事業について再度内容吟味
	12月部会	12/20(土)	26年度上半期活動の総括 上半期をふり返って計画の進捗状況をチェック
B1-9	1月部会	1/17(土)	福祉サービス第三者評価 評価調査者内部研修② 児童福祉分野を評価対象に加えるに当たり、その評価ポイントを理解する。
	2月部会	2/14(土)	地活支援活動検討会② SCP研究会をいよいよ具体化するための課題を検討する。
B1-11	3月例会学習会	3/7(土) 例会学習会	テーマ未定 (障害者住宅改修セミナー③) M邸改修事業について、その成果を確認し、今後の障害者住環境整備の指針づくりに取り組む
	3月部会	3/28(土)	福祉サービス第三者評価 評価調査者内部研修③ 社会的養護施設分野 協働の取組(3件)をふり返り、成果と課題を見極める
B1-13	4月部会	4/18(土)	地活支援活動検討会③ 地域共生課題 高齢・障害・児童の境界を解消する、地域共生社会の必然性と その課題を理解する。(5月の見学会に向けて)
	5月部会	5/16(土)	障害者施設見学会 西宮共生のまちづくり館
B1-15	6月例会学習会	6/6(土) 例会学習会	テーマ未定(共生のまちづくり) 5月の見学会をふり返って、これからの福祉社会に求められるもの、市民の責務を考える。
	6月部会	6/20(土)	26年度活動の総括と27年度活動計画 こむねっと事業部の中長期計画(5~10年)

※部会は毎月第3土曜日の開催を基本とし、このほかに9・3・6月の定例会学習会を部会で企画開催します。

(今年度は障害者住環境整備シリーズ)

このほか、11月と5月に障害者施設見学会を企画しています。

なお、上記の予定は、活動状況の推移にあわせて適宜に変更することがあります。

こむねっと事業部会 平成26年度予算計画 (H26/7/1~H27/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
A-1-1	福祉サービス第三者評価① (地域福祉審議会)	¥0	¥0	0
A-1-2	福祉サービス第三者評価② (評価機関連絡会)	¥0	¥0	0
A-1-3	福祉サービス第三者評価③ (奈良県手をつなぐ育成会)	¥690,000	¥586,000	104,000
A-1-4-1	福祉サービス第三者評価④ (養成研修受講費半額負担)	¥0	¥35,000	-35,000
A-1-4-2	福祉サービス第三者評価④-2 (新規受審)	¥300,000	¥255,000	45,000
A-1-5	福祉サービス第三者評価⑤ (社会的養護協働参加)	¥60,000	¥51,000	9,000
A-2-1	地活支援① (草の根共生会 蓮Ⅱ設計監理)	¥300,000	¥255,000	45,000
A-2-2	地活支援② (M 邸改修 企画設計監理)	¥285,000	¥240,000	45,000
A-2-3	地活支援③ (真友会)	¥0	¥0	0
A-2-4	地活支援④ (既存建物保全等)	¥1,000,000	¥850,000	150,000
A-2-5	地活支援⑤ (研修会参加)	¥0	¥30,000	-30,000
A-2-6	地活支援⑥ (西宮共生のまちづくり)	¥0	¥0	0
A-2-7	地活支援⑦ (ネットワーク)	¥0	¥30,000	-30,000
B-1-1	部会活動	¥0	¥30,000	-30,000
~1-16	うち SCP 研究会	¥40,000	¥20,000	20,000
部会経費			¥50,000	-50,000
合計		¥2,675,000	¥2,432,000	243,000

#### 4. 20周年記念事業検討委員会 (清水会員)

ふくてっく発足20周年記念事業検討委員会			
平成26年度事業計画 (H26/7/1~H27/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
1	ふくてっく発足20周年記念事業準備	H26年 7/1~ H26年 8/30	20周年記念事業実施に向けて、資料作成等をおこなう。
2	ふくてっく発足20周年記念事業	H26年 8/2・3	①8/2~8/5 ATC11階エイジレスセンター/Hゾーンにおいて 「ふくてっく発足20周年のあゆみ」パネル展示 ②ATC5階「太陽のカフェ」において

ふくてっく発足20周年記念事業検討委員会				
平成26年度予算計画 (H26/7/1~H27/6/30)				
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)				
	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	ふくてっく発足20周年記念事業準備	0	人件費 通信交通費 消耗品等	30,000 △30,000
A-2	ふくてっく発足20周年記念事業	150,000 (50名×3,000)	人件費 通信交通費 会場費 消耗品 飲食費 記念品	20,000 20,000 50,000 10,000 150,000 25,000 △125,000
	合計	150,000		305,000 △155,000

# 5号議案 平成26年度予算計画 (中北事務局長)

26年度は、東大阪部会が引き続き力強く事業を継続して行きます。  
 こむねっと事業部会は前年度からの継続事業が26年度に収支に顕在化するとともに  
 いくつかの事業が始動することもあると、事業規模が拡大傾向にあります。  
 収支としては、20周年記念事業会計が加わり、微妙な収支結果となっています。

特定非営利活動法人ふくてつ

活動予算書  
 平成26年7月1日から平成27年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	360,000	
通信会員受取会費	1,000	
学生会員受取会費	0	
例会参加受取会費	1,000	362,000
2. 受取寄付金		5,000
3. 事業収益		
ふくてつのおつどい	35,000	
こむねっと	2,675,000	
東大阪	7,297,200	10,007,200
4. その他収益		
受取利息	1,350	
雑収入	520	1,870
20周年記念事業会費	150,000	150,000
経常収益計		10,526,070
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,000	
人件費計	10,000	
(2) その他経費		
諸謝金	7,770,000	
地代家賃	0	
印刷製本費	48,000	
通信運搬費	90,000	
消耗品費	270,000	
旅費交通費	700,000	
会議費	50,000	
車両費	6,000	
租税公課	10,000	
諸会費	0	
研修費	30,000	
支払手数料	20,000	
雑費	160,000	
その他経費計	9,154,000	
事業費計		9,164,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	130,000	
通勤費	35,000	
人件費計	165,000	
(2) その他経費		
諸謝金	60,000	
地代家賃	405,000	
印刷製本費	1,000	
通信運搬費	70,000	
消耗品費	5,000	
旅費交通費	0	
会議費	80,000	
保険料	40,000	
租税公課	72,000	
諸会費	10,000	
支払手数料	35,000	
新聞図書費	15,000	
減価償却費	1,800	
寄付金	0	
雑費	50,000	
20周年記念事業経費	305,000	
その他経費計	1,149,800	
管理費計		1,314,800
経常費用計		10,478,800
当期経常増減額		47,270
当期正味財産増減額		47,270
前期繰越正味財産額		5,626,064
次期繰越正味財産額		5,673,334